

地名と風土 第17号

目次 一〇一四年七月一五日

巻頭言

論文

- 「地名から見る物語 —若者と民俗の視点から—」 金田 久璋 8
「土俗趣味誌『土の香』についての一考察 —主に「趣味的研究」をめぐって—」 森野 巧巳 10
「アートによる地域づくりは可能か」 神川 隆 15

- 『遠野物語』三三話・地名由来譚を題材とする芸術展の制作プロセスの記述』 森内 こゆき 24
「若狭・丹後の古代地名と風土・渡来人」 荒竹 清光 36

地名研究の原点を京都で探る

特集

- 「日本文化研究の一隅に地名の柱を —柳田国男の地名研究の「揺らぎ」に学ぶ—」 小田 富英 46
「鵜飼と地名 —フォーカナビゲイションと地名が語る歴史表象—」 篠原 徹 55
「漁場の占有地名と漁業慣行 —飛島のタコ穴漁の事例から—」 伊藤 廣之 65
「漁業者の空間認識 —沿岸一本釣り漁の事例から—」 増崎 勝敏 72
「アジアに広がる「多仁」地名と姓」 多仁 照廣 78
「京の地名再考 (一) 先斗町」 杉本 重雄 83
「京の地名再考 (二) 一口」 小寺 慶昭 92
「京の地名再考 (三) 嵐山」 糸井 通浩 100
「地名を表記する漢字が伝える情報」 笹原 宏之 112

「より低い場所への模索——桑原武夫から多田道太郎へ」	鶴見 太郎
「絵図からデジタルジオラマへとつなぐ地名景観——京都府宮津市日ヶ谷を事例に」	笛谷 康之
「地名研究の先達 八 私が知る吉田金彦と「地名の研究」」	中葉 博文
「古層脈物語 二」	谷川 ゆに

地名談話室

中野良宣・金田孫吉・篠原憲・加藤秀雄

ヨラム

天王信仰と行き逢い祭	久保田 宏
国（国家）にまつわる話	小林 汎
小字名称とグローバル	笠井 賢紀
柳田国男の「狼論」——動物社会学と動物地名	高橋 治
「地名と地域史に就いて」	犬丸慎一郎

編集後記

〔表紙写真〕 「京都祇園祭綾傘鉾棒振り囃子太鼓方の踊り」（八木透 撮影）
 〔グラビア頁〕 写真、文 京都地名研究会